

高津区おはなしアーカイブ

- 戸張 重雄（とばり しげお）さん
昭和7年生まれ 86歳
川崎市高津区北見方在住



◆子どもの頃のこと

私は生まれて以来ずっと北見方に住んでいます。家は農家で、地主でしたが、父が身体が弱かったから、ほとんど小作の人に貸していました。

私は7人兄妹の長男で、女2人男5人でした。兄妹は現在3人になっちゃったけど。

両親と兄妹、それと私が生まれたころには祖父、曾祖母も一緒に暮らしていました。

家の土間は広かったです。30畳くらいありました。カマドがあって、大きな樽に自家製の味噌や醤油をいれてありました。漬物は四斗樽で作っていました。お餅をついたら、それも水に浸けて四斗樽で保存して、おやつ用にしていました。

その頃の北見方は茅葺の農家が50軒ほどだった。工場もなかったし第三京浜もなく、広々していて、春は二子橋から丸子橋まで一面の桜だった。

◆小学校の頃のこと

高津尋常小学校に入学して、その後は高等科に行きました。新制中学に行った人もいたけれど、私は家の農業しなくちゃならなかったからね。

自分が勉強させてもらえなかったから、その分、2人の子どもや孫達には大学まで行かせています。

高津小学校、今は新しくなっていますが、昔は平屋の校舎が3つあって、その左側に新しく2階建ての校舎ができました。

私が小学校へ入学する時にね、長男だから勉強させるんだって、祖父が世田谷のボロ市で勉強机を買ってきてくれましてね。家まで背中に背負って帰ってきたんですよ（笑）。もう脚の部分がダメになって天板だけになっちゃったけど今でもそれを使っていますよ。

学校へ行くときの服装は洋服でした。運動靴を履いてはいましたが、配給は何年かに1足くらいしかもらえなかったからね。売ってもいないし、お金もなかったしね。ゲタなんかは薪を切って自分で作っていましたね。

それから草鞋を履いて学校へ行ったこともありましたね。もちろん自分で作ったやつをね。

夏休みや冬休みもあったんだろうけど、よく覚えてないな。農家ばかりの地域だったから農繁期の休みはあったよ。

◆遊びのこと

村の子たちと遊んだのは、かくれんぼ、うまとびなんかしたのを覚えていますね。かくれんぼしていて途中で帰ってしまった子がいて、見つからなくて困ったことがあったな(笑)。

子どもの頃のお祭りは質素なもので、演芸などもなかったし、特別なことは何もなかったですね。一度だけ青年団で出し物をやったことがあったかな。

父が病弱で村のいろんな役目をできなかつたから、そういう役目を全部私がやらなくちゃいけないくて、お祭りも楽しむより手伝いばかりでしたよ(笑)。旅行なんてほとんどしてないです。休む暇がないんだもの。弟妹は遊んでいたけど、長男の私は手伝いばかりです。すぐ下の弟は少しは手伝っていたかな。

◆生活の様子

食事は家族そろって食べていました。ご飯は藁で、カマドで炊いていました。薪とちがって藁は焚いている間は傍についてな

くちやいけないんですよ。ご飯炊きは妹たちがやっていました。

薪はお風呂を焚くときに使っていました。私の家は周りに木がいっぱいあったから何とか賄えたけど、薪が手に入らない家も沢山ありましたよ。

昔は家の中に電灯が少なかったから、夜にお手洗いにいくのは恐かったです。

お正月も、特別なことはしていませんでしたよ。お雑煮などは食べたと思うけど、特別に買うってことはしていませんね。野菜はあるしね。

何しろ自給自足の時代ですからね、肉を食べるなんてときは、飼っていた鶏で卵を産まなくなったのを料理していたわけですよ。鶏の首をひねっているところを目の前で見っていたもんだから、私はいまだに鶏肉は食べません。牛や豚は食べるんですけどね。

魚は配給で手に入れていました。あの頃隣組で配給してくれていたんだけど、虫が湧いていたりもするの。でも病気なんかしなかったですよ。

買い物っていっても店がほとんどなかったからね。アキグチャっていう雑貨屋があって、ちょっとした駄菓子、日用品、雑貨なんかを売っていました。子どものころにはクニミセっていう店があったけど、戦争でつぶれちゃったんじゃないかな。戦後にはワカマツヤって店ができました。あと、行商がきていましたね。

◆家業の手伝いのこと

父が身体が弱かったため子どもの頃から家業の農業を助けてきました。小学校のときからずっとです。

桃をたくさん作っていました。それから春は大根、カブなども、桃の合間に作っていました。

この辺りは桃の産地だったんですよ。中野島や宿河原が特に多かったですね。桃の花が咲くとあたり一面がピンクで、それは綺麗でした。

近くに川があって、採れた野菜はそこで洗っていました。それを新宿、世田谷、中原などの市場にリヤカーを引いて歩いて運んでいました。

畑仕事をするにもその頃は地下足袋なんてなくて、草鞋か、裸足ですよ。雨が降れば家の中で仕事をするんだ。ムシロを織ったり、縄をなったり、草履を作ったり、ずいぶんやらされたもんだ。農家ってのは晴れたら畑仕事、雨が降ったら家の中の仕事が随分あるからね、休む暇なしですよ。

朝は明るくなるころに起きて学校へ行く前に畑仕事。勤め人になってからも職場に行くのは畑仕事をしてから。ずっとそういう暮らしをしてきました。

◆戦争の頃のこと

戦争になったのは昭和16年、私が9歳のときでした。父が病気で、家は私が支えていたから勤労奉仕には行ってないです。

お米でも麦でも収穫したのは供出しますから、自分たちの分は配給を受けなくちゃならなかったんですよ。配給の米は豆カスなんか混ぜてありました。

戦中になってだんだん食糧事情も厳しくなって、桃の木は切られました。ぜいたく品の果物はやめて、穀物を作らなくちゃいけないってことでね。

近くに軍需工場があったから空襲も激しくなってきた、終戦の少し前、私が高等科1年の時に爆撃で家が焼けちゃったんです。その頃からずっと私が主になって働いてきました。

畑が1町（1町は約10,000㎡）、田圃が5反（1反は約1,000㎡）ほどありました。野菜は手がかかるから、サツマイモなどを2,000本くらい植え付けていました。

父は徴兵はされませんでした、警防団に詰めてなくちゃいけなかった。だから爆撃で家が焼けた時も役所に詰めていて留守にしていたんです。

中延に親戚がいて、東京よりも川崎の我が家の方が安全だろうからって、大事なものをいっぱい預かっていたんですよ。でも結局そっちの家は無事で私の家の方が焼けちゃった。

家が焼けて、何にもなくなってしまって途方に暮れているときに、一番近い親戚のおばあちゃんがお米を持ってきてくれて、嬉しかったですね。

世田谷の親戚からは、農作業に使う道具やら材料も持ってきてくれた。しかも、世田谷は強制疎開させられることになっていて、住んでいた家は壊されちゃうから、お前のところの家を建てる材料になる物は何でも持って行って言ってくれたの。リヤカー引っ張ってって柱だの雨戸だのをいっぱいもらいました。おかげで住む家はなんとか建てることができましたんです。

終戦で世の中が変わったなんて言われてもね、私にとっては家族を背負ってただもう精一杯働いていただけですよ。

◆結婚式のこと

結婚したのは昭和33年、26歳のときでした。結婚式は自宅で行いました。

式を挙げる前に男性が女性の家にご挨拶の「顔出し」に行って、更に親戚を回りました。それから女性が男性の家の神社とお寺と親戚を回って挨拶したんです。本人同士が結婚前に顔を合わせたのは2、3回です。

式に神主は呼びません。仲人、親戚を呼びました。仲人は男性側と女性側と2組いたんですよ。

昼はつながりの濃い親戚を、夜はつながりの薄い親戚を呼んで、宴会もそれぞれ50人ほどを呼んで2回やりました。

新婚旅行は横浜から鈍行の電車で湯河原に行きました。

◆仕事のこと

高等科2年を卒業してすぐに呉羽ゴムに勤めました。もちろん畑をやりながらです。何年かしてそこが閉鎖になったので、川崎の浅見工作所というところで2年働きました。自転車の部品製作する会社です。退社を願い出た時には社長が家に来てやめないでほしいと頼まれたんですがね。紹介してくれる人がいて、22歳から役所に移りました。

最初はトロリーバスの運転手をして、40代で経理課へ移動しました。その後幸区役所内の福祉事務所に異動して7年間、日進町の福祉センターへ異動して3年です。

それから高齢者の健康と学びの場である長寿荘へ異動して3年勤めました。1人暮らしの方の対応やら、金婚のお祝いなどしましたね。最後の職場は高津授産場で2年間、障害者社会復帰のための職業訓練の仕事をしました。

福祉の仕事を通して、どんな人でも人間関係がよければ仕事ができるってことを教えられました。

「今までの場長で一番良かった」と喜ばれたのが一番うれしい思い出ですね。

◆定年を過ぎてからのこと

町会や地域のお役目はずいぶん長くやりました。JAのほうは支部長を2期、総代を40年以上務めています。白髭神社の氏子総代のお役目は今も引き受けています。

神輿を新しく作ったんだけど、前の神輿は東日本大震災の被災地から要請があって、そちらに寄付したんです。

18年前にお寺を建てる時には建築委員長を務めました。今は相談役になっています。

良い地域をつくるには、古くからいる人も新しく来た人も、一人一人が自分の地域を愛して、皆で一丸となって同じ気持ちで助け合っていくことが一番大切なんですね。

今年で定年後26年たちました。職場は色々と変わりましたが、何事もなく無事に定年を迎えられて本当に良かったなと思っています。



奥様からも沢山お話を伺いました

(平成30年7月2日取材)